



## 自分たちの学習の集大成を「最高の授業」で

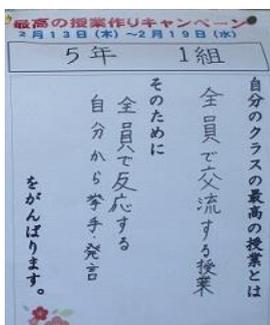
校長 松井克仁

2月13日(木)～19日(水)の期間で、全学級「最高の授業づくりキャンペーン」に取り組みました。この取組のねらいは、「1年間の学習のまとめとして、自分たちの最高の授業を自分たちの姿で具現すること」と、「次年度進級する学年の授業を参観することで、次学年に向けての心構えをもつこと」の2つです。そして、この「最高の授業」は昨年度から保護者の方にも参観していただいています。



【多くの保護者が見守る中張り切る1年生】

この授業に向けて、まず学級で「自分たちが目指す最高の授業とはどんな授業か」について話し合っただけでめあてを決めました。そのめあては、例えば「(5年生)『全員で交流する授業』～そのために、全員で反応したり自分から挙手発言したりする」(左参照)です。そして、その当日の授業だけでなく、キャンペーン期間を通して意識を高め、普段から最高の授業を創り出せるように互いに声をかけ合ってきました。参観して下さった保護者の皆様、子供たちの最高の授業の姿はいかがでしたでしょうか? 数名の児童に話を聞くと、



【(学級掲示)5年生のめあて】

「大勢の人がいて緊張したけど、いい姿を見せることができた」「〇年生は、反応がよく話す人を見て聞いていてすごいと思った」等と答えるなどキャンペーンの成果があったようです。



【仲間と考えを交流する3年生】

いよいよ今年度も残り1か月となりました。これからも自分たちで深まりのある授業を目指していきたくと考えています。

## 6年生に感謝の気持ちを伝えた「ありがとうの会」

2月21日(金)に「ありがとうの会」を開催しました。1年間全校のリーダーとして頑張ってきた6年生に全校から感謝の気持ちを伝える会でした。外は風が冷たく寒い日でしたが、会場は終始「ありがとう」の言葉で温かい雰囲気になりました。1年生から5年生の発表では、「通学班で安全に連れてきてくれたこと」「とものわ活動で全校が楽しめる遊びを考えて進めてくれたこと」「委員会活動でよりよい学校になるよう全校のために取り組んでくれたこと」など、これまでの6年生の素晴らしい姿にありがとうの気持ちが込められていました。



【1年生からのありがとうの贈り物】



【下級生からのプレゼントをもらう6年生】

こんなにとくさんの「ありがとう」の言葉で会場が包まれたのも、6年生が1年間全校のリーダーとして下級生をまとめ、リーダーとしての手本を示し続けてきてくれたからだと感じました。6年生は1年間全校のリーダーとしてよく頑張りました。明智小学校のみんなが楽しく笑顔で過ごせたのも皆さんのおかげです。本当にありがとう。これからも皆さんの活躍を期待しています。